

住民生活を支える生鮮食品店が再開 ～『栄村森宮野原駅前 仮施設』～

【長野県栄村北信地区】

所在地：長野県下水内郡栄村大字北信 3587 番地 17 他

種別：仮設店舗及び倉庫

延床面積：約244㎡

入居者：卸売業、小売業等

区画数：2区画

建物構造：軽量鉄骨造2階建て

事業開始：平成23年10月19日

完成：平成24年1月14日（店舗オープン1月28日）

平成23年3月12日早朝に発生した長野県・新潟県県境付近を震源とするM6.7の直下型地震と多くの余震により、長野県北部に位置する栄村では最大震度6強を観測した。新潟県十日町市・津南町とともに、家屋倒壊が相次ぎ、甚大な被害を受けた。

住民に生鮮食品等を供給していたJR森宮野原駅前の商店街も、その機能を失った。栄村では、住民生活確保のために、商業機能回復を図るべく、中小機構に仮施設整備を要望した。

平成24年1月14日に建物が完成。同年1月28日に店舗が営業開始した。

村内の多数の皆さんからの再開希望の声を受けて、震災前に商店を経営していた母親の後を継ぐ形でご息が店舗を再開、オープンした。

